

# ギニアビサウ

## 【国名】

- 一説によると、「ギニア」はベルベル語で「黒人たちの土地」を意味する。ギニア共和国、赤道ギニア等と区別するため、国名は首都の名を冠して「ギニアビサウ」とされた。



ギニアビサウ国旗

## 【国旗】

- 赤，黄，緑の三色からなるギニアビサウ国旗は，独立運動を指揮した現与党ギニア・カーボベルデ独立アフリカ党（PAIGC）の党旗をもとに制定された。

## 【国土】

- 大西洋に面し，国境は，セネガル及びギニアと隣接している。面積は3.6万km<sup>2</sup>（九州程度）。首都はビサウ。人口は約174万人。



## 【歴史】

- ギニアビサウは15世紀にポルトガル人が到来して以来、ポルトガル領ギニアとして植民地支配を受けていたが、独立運動を開始。



国民英雄広場

- ギニアビサウでは11年に及ぶ激しいゲリラ戦を伴う独立戦争が戦われることとなり、1973年に独立を達成した。

## 【ギニアビサウの人と社会】

- 国内には 30 以上の民族が共存している。
- また、イスラム教徒、キリスト教徒、伝統的宗教を信仰している人々及び無宗教者が混在しているとされる。
- 奥地に行けば、貨幣の概念が存在せず、物々交換が行われている。



カーニバル  
(2019年3月開催)

## 【豊富な天然資源】

- ギニアビサウは、天然資源が非常に豊富。
- 特にカシューナッツに関しては西アフリカで第2位、世界でも第6位の生産量を誇り、国家収入の半分以上を占める。また世界の未加工カシューナッツ輸出量の20%（世界第4位）をギニアビサウ産が占め、人口の75%がカシューナッツ経済に依存している。
- カシューナッツの「カシュー」はギニアビサウのカシュー地方に由来するという説もある。
- その他にも、肥沃な農地、エビなどの水産資源、森林資源、鉱物資源（ボーキサイト、リンなど）が存在するが、その多くはいまだ手つかず。

## 【ビジャゴス諸島】

- ギニアビサウの沖合に位置する大小 88 以上の島々（有人島は 20 程度）はビジャゴス諸島と呼ばれ、その豊かな自然，独自の文化などから観光スポットとして注目を集めている。



ビジャゴス諸島①

- 海辺にはマングローブが生い茂り，ウミガメや水中哺乳類のマナティなど貴重な野生生物が見られることから，1996 年にユネスコの生物圏保護区に指定された。



ビジャゴス諸島②

- ビジャゴス諸島に住む人々のルーツについてはいまだに謎が多く，その文化や信仰，芸術などは島によって様々である。



ビジャゴス諸島③

(了)